

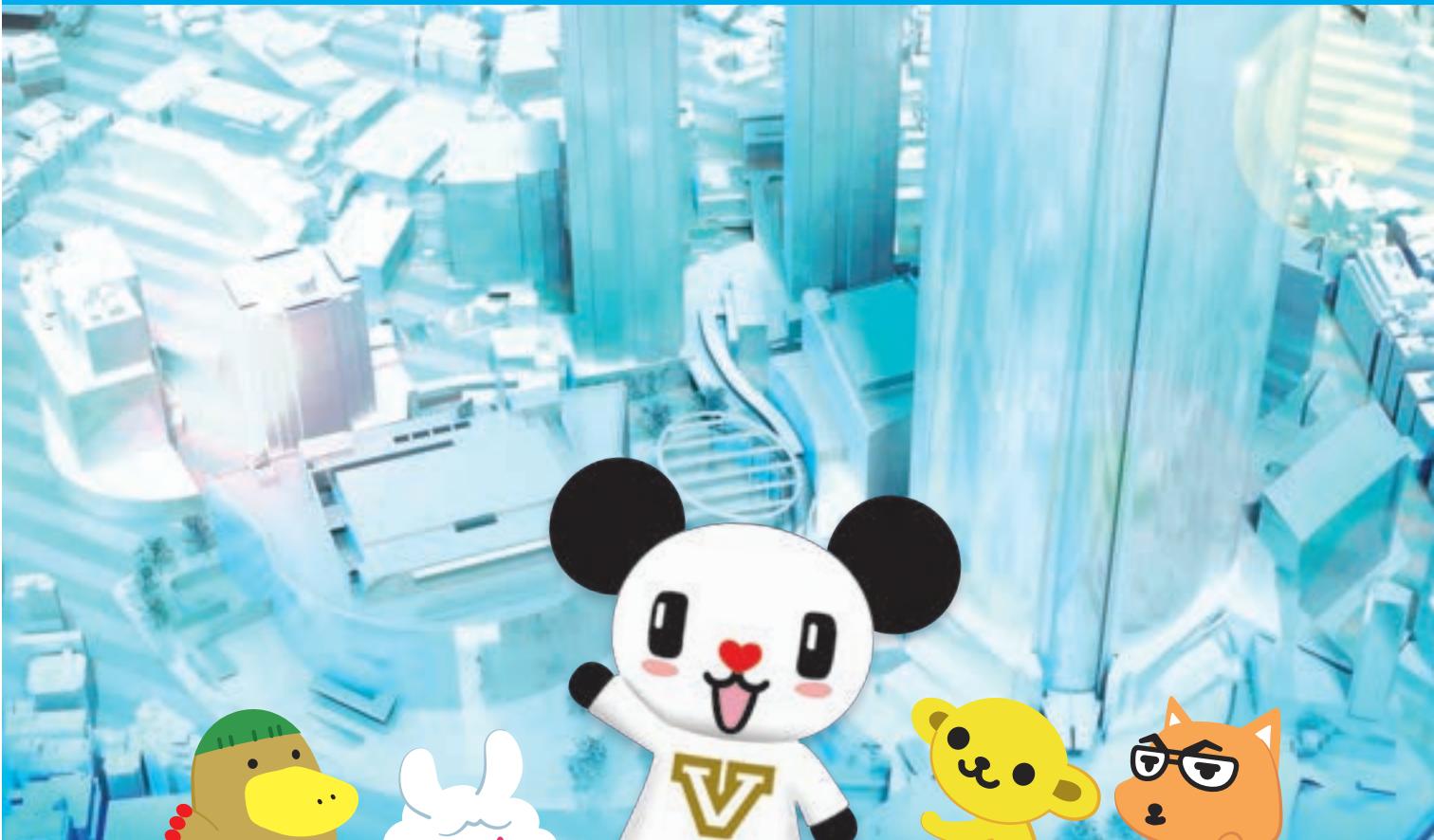


tv asahi

テレビ朝日ホールディングス

第84期 中間報告書

2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日



証券コード：9409

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。ここに第84期の中間報告書をお届けします。

当中間期(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の連結売上高は1,468億円(前年同期比+1.4%)で増収となりましたが、テレビ広告市況の停滞やコンテンツ力の強化に努めたことなどにより営業利益は43億円(同△40.9%)で減益となりました。

本年4月からは新たな経営計画「BREAKOUT STATION! 新しい時代のテレビ朝日 経営計画2023-2025」をスタートさせ、様々な取り組みを行っております。2025年度までに年間・年度での3冠を目指す地上波の個人全体視聴率は好調に推移し、全日帯(6~24時)3.4%、プライム帯(19~23時)5.1%と、開局以来初となる2冠を達成することができました。

地上波のテレビ放送にくわえ、成長領域と位置付ける各事業についても精力的な取り組みを展開しています。

インターネットでは、インターネットテレビ局「ABEMA」、有料動画配信サービス「TELASA」、無料見逃し動画配信サービス「TVer」、動画広告配信プラットフォームを運用する「UltraImpression(ウルトラインプレッション)」など、幅広く取り組んでいます。TVerでの動画再生数や広告収入が急拡大するなど大きな成果を生んでいます。また、最新テクノロジーを活用したメタバースと地上波番組の連動を行うなど、さらなる成長のための新領域開拓も積極的に推進し

ております。

メディアシティでは、臨海副都心の有明南地区に当社グループの新たな情報発信基地となる「東京ドリームパーク」の建設を進めています。建設計画や詳細なビジネスプランの構築など着実に進んでおり、2026年春の開業を目指しつつに着工しました。新たな発信拠点として大きく成長させてまいりますのでご期待ください。

急速に進むメディア激変の波を受け、テレビ広告市況は厳しい先行きとなることも懸念されますが、数多くのコンテンツやIP、コンテンツ制作力を有する我々にとって大きな好機であると捉えています。新しい経営計画のもと既存の“テレビ局”を超えていく取り組みを加速させ、柔軟な発想で資本効率の継続的な改善に努めます。また、サステナビリティも意識した経営を推進し企業価値の不断の向上に努めることで、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

2023年12月

代表取締役会長

早河 洋



人的資本に関する方針とDXへの取り組み

当社グループは、「より魅力的かつ社会から求められる情報やコンテンツを提供し夢や希望を持ち続けられる社会の実現に貢献する」という企業使命を掲げております。

テレビを取り巻く環境が急激に変化し、ライフスタイルや価値観が多様化する社会において、この企業使命を果たすため「ダイバーシティの確保」「人材育成」「エンゲージメントの向上」の3つを当社グループの人的資本に関する方針の柱として推進してまいります。

この人的リソースを最大限活かすために、業務効率化を推進し、DXへの取り組みを進めております。その一環として、「番組制作現場のカンペなどのペーパーレス化」をはじめとした電子化施策、「取材VTRの文字起こし」「RPAによる視聴率レポート作業の補助」などの業務の自動化施策などを実施しております。

今後も当社グループをあげて積極的なDX推進への取り組みを進め、より一層、働きがいと成長を実感できる職場づくりを目指してまいります。

- テレビ朝日ホールディングスサステナビリティサイト「人的資本」



 https://www.tv-asahihd.co.jp/sustainability/human_capital/

テレビ朝日のSDGsへの取り組み

一 番組とアートを通じた発信

テレビ朝日では、2022年より「art to ART Project」として、廃棄される番組の美術セット(art)を有効活用し、新しいアート作品(ART)としてよみがえらせる取り組みを行っています。5月に開催された「METROCK 2023」の東京会場では、木工パネルや人工芝を使ったフォトブースを設置。さらに造花廃材で作るリストバンドのワークショップも開催しました！

また、9月15日～24日まで臨海副都心(有明・台場・青海)で行われたイベント「ARTBAY TOKYO アートフェスティバル 2023」では、廃材を活用した大型アート作品の展示、子ども向けワークショップやガイドツアーを企画・運営し、たくさんの方々に、アート体験を通じてSDGsの課題を身近に感じていただく機会を提供しました！

さらに、テレビ朝日の全報道・情報番組が参画し、地球規模の問題に斬り込む集中企画「未来をここからプロジェクト×SDGs」を放送。今年度上期は、9月17日から8日間に渡り各番組で「気候変動」をテーマに独自企画を展開しました。

南極観測隊に初密着した「南極ノート」に続き、世界極北の集落に2ヶ月に渡り記者が滞在、取材した「北極ノート」では「報道ステーション」などの番組で、「北極」で起きている凍土融解の実態、生態系や人々の暮らしに迫る危機を取材を通じて伝えました。



廃材から制作されたMETROCKフォトブース

■ 連結業績ハイライト

個人全体・世帯で全日・プライム2冠!!

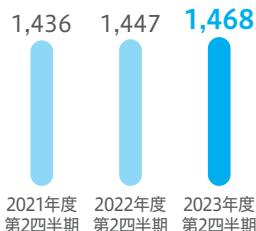
開局以来初となる上期個人全体 全日・プライム1位を達成しました。

当中間期の日本経済は、雇用・所得環境の改善に伴い、緩やかな回復が続きました。一方、テレビ広告市況におきましては、東京地区のスポット広告の出稿量が前年同期を下回るなど、依然として厳しい状況となりました。

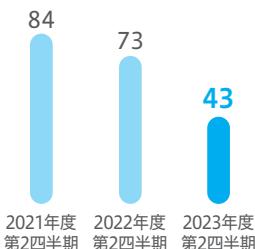
このような経済状況のなか、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,468億2千9百万円(前年同期比+1.4%)となり、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が1,424億9千3百万円(同+3.7%)となりました結果、営業利益は43億3千6百万円(同△40.9%)となりました。また、経常利益は86億4千1百万円(同△30.5%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は66億1千3百万円(同△28.9%)となりました。

	2021年度		2022年度		2023年度	
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期(予想)
売上高 (億円)	1,436	2,982	1,447	3,045	1,468	3,130
営業利益 (億円)	84	214	73	145	43	150
経常利益 (億円)	113	264	124	231	86	200
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (億円)	76	209	93	166	66	150
総資産 (億円)	4,890	4,988	4,851	4,951	4,990	—
純資産 (億円)	3,916	3,932	3,939	3,947	4,049	—
営業活動によるキャッシュ・フロー (億円)	130	301	78	153	117	—
投資活動によるキャッシュ・フロー (億円)	△114	76	△332	△250	△183	—
財務活動によるキャッシュ・フロー (億円)	△21	△45	△40	△66	△33	—
1株当たり配当金 (円)	中間20	期末30/通期50	中間20	期末30/通期50	中間20	期末30/通期50
配当性向 (%)	—	24.2	—	30.6	—	33.9

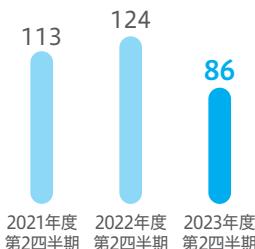
売上高(億円)



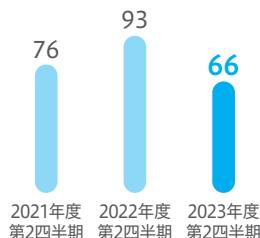
営業利益(億円)



経常利益(億円)



親会社株主に帰属する
四半期純利益(億円)



ホームページの
ご案内



テレビ朝日 IR

検索

<https://www.tv-asahi.co.jp/IR/>

当社IRサイトでは、決算短信、有価証券報告書、決算説明会資料など、株主・投資家の皆様のための情報をご覧いただけます。

事業別活動報告

事業別売上高、営業利益はセグメント間取引調整前のものです。



テレビ放送事業



売上高 **1,102億円** (前年同期比 Δ 0.7%減)

営業利益 **11億円** (前年同期比 Δ 76.1%減)

2023年度上期の平均視聴率は、全日視聴率(6時～24時)では個人全体3.4%で1位、世帯6.1%で1位、ゴールデンタイム(19時～22時)は個人全体5.0%で2位、世帯では8.5%で3位、プライムタイム(19時～23時)では個人全体5.1%で1位、世帯8.7%で1位となりました。視聴率はトップグループを維持しており、個人全体・世帯ともに全日・プライム2冠を獲得、特に上期での個人全体 全日・プライム1位達成は開局以来初となります。

報道・情報番組は「報道ステーション」をはじめ、各ベルト番組が堅調に推移し、「グッド！モーニング」は7月クールで初となる同時時間帯民放トップを獲得しています。

バラエティー番組では、「ザワつく！金曜日」「サンドウィッチマン&芦田愛菜の博士ちゃん」をはじめとした週末のレギュラー番組を中心に高い視聴率を獲得。また、8月18日～20日にかけて「ザワつく！池上彰&林修！ポツンと秘境パス 真夏の番組コラボ金土日」と題し3夜連続トータル8時間にわたる超大型バラエティコラボを実施、連日高視聴率となりました。

連続ドラマでは各クールで火曜・水曜・木曜の21時台ドラマが好結果を残し、特に7月クールはプライム帯に放送した「シッコウ!!～犬と私と執行官～(平均個人全体4.7%・世帯8.1%)」「ハヤブサ消防団(平均個人全体5.4%・世帯9.3%)」のいずれも民放

連続ドラマトップ5にランクインする高視聴率となりました。

スポーツでは、「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」の日本戦3試合がいずれも高視聴率を獲得、パリオリンピックの出場権をかけた「日本×カーボベルデ戦(個人全体15.3%・世帯22.9%)」は上期全局すべての番組で最高の視聴率となりました。

テレビ広告市況について、タイム収入は、海外経済の下振れリスクが指摘されるなど、依然、不透明感がみられるなか、アドバタイザーの宣伝活動において固定費削減傾向が強まり、レギュラー番組のセールスでは苦戦を強いられました。一方で、単発番組につきましては、「世界水泳福岡2023」「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」など大型スポーツ番組の高額セールスに成功し増収となりました。以上の結果、タイム収入合計は392億4千7百万円(前年同期比+1.9%)となりました。

スポット収入は、東京地区の広告出稿量が前年同期を下回ったことなどから減収となりました。業種別では、「交通・レジャー」「事務機器・事務用品」「外食・各種サービス」などが好調な一方で、「情報・通信」「出版」「食品」などは減収となりました。以上の結果、スポット収入は402億8千7百万円(同 Δ 5.5%)となりました。



「グッド！モーニング」



「ハヤブサ消防団」



「ザワつく！金曜日」

事業別活動報告



インターネット事業

売上高 **132億円** (前年同期比12.2%増)

営業利益 **6億円** (前年同期比145.3%増)

● 売上高(億円)



● 営業利益(億円)



無料見逃し動画配信サービス「TVer」等における広告収入や動画配信プラットフォームへのコンテンツ販売が好調に推移したことなどにより、インターネット事業は増収増益となりました。



ショッピング事業

売上高 **91億円** (前年同期比0.5%増)

営業利益 **7億円** (前年同期比2.0%増)

● 売上高(億円)



● 営業利益(億円)



ショッピング事業は増収増益となりました。



その他事業

売上高 **215億円** (前年同期比11.6%増)

営業利益 **17億円** (前年同期比27.6%増)

● 売上高(億円)



● 営業利益(億円)



音楽出版事業は所属アーティストの「ケツメイシ」、「湘南乃風」、「平井大」がコンサートツアーを実施したことなどにより増収となったほか、イベント事業や出資映画事業、機器販売リース事業が増収となりました結果、その他事業については増収増益となりました。

株主様向け優待についてのお知らせ

当社では、テレビ朝日グループの事業内容を株主様に広くご理解いただく一環といたしまして、毎年3月31日時点の株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上お持ちの株主様を対象に、「題名のない音楽会」の収録見学、および、本社ビル施設の見学会を、また、毎年9月30日時点の株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上お持ちの株主様を対象に、「ミュージックステーション SUPER LIVE」の観覧を、それぞれ実施してまいりました。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、中止しておりました上記「株主様向け優待」について再開を検討してまいりましたが、こちらについては本年度も開催を中止しております。(株主様向け「テレビショッピング販売商品」特別優待価格でのご提供については、引き続きご案内させていただきます。)

なお、来年度以降、上記「株主様向け優待」を再開できる状況になりましたら、改めて告知させていただきます。何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

株主様向け優待制度による 寄付実績のご報告

2023年度の株主様向け優待において、「社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団への寄付」に多くの株主様からご賛同をいただき、2023年9月30日に総額100,000円を寄付いたしました。ご協力いただいた株主の皆様には、心より御礼申し上げます。

📺 株主様向け「テレビショッピング販売商品」特別優待価格でのご提供のご案内

テレビ朝日グループで通販事業を担当する株式会社ロッピングライフの商品の中から、株主様を対象に、厳選いたしました商品を特別優待価格でご提供しております。同封のパンフレットに記載の専用ホームページもご覧いただき、ご希望の商品がございましたら、パンフレットおよび専用ホームページに記載の「通話料無料 ご注文専用番号」にお電話ください。

※ホームページでは、パンフレット掲載商品の内容をさらに詳しくご紹介しております。
ホームページの商品説明を印刷して、お手許にお送りすることもできますので、下記「通話料無料 お問合せ専用番号」にお気軽にお電話ください。

お問合せ先

株式会社テレビ朝日ホールディングス
株主様ご優待 通話料無料お問合せ専用番号

0120-532-510

10時～18時
※日曜・祝日・12/30～1/3は除く

株主様へのお知らせ

これまで年2回(中間・期末)「報告書」をお届けしておりましたが、当社ホームページにおいて同内容を掲載しておりますことから、環境負荷軽減の観点も踏まえまして、2024年6月より印刷物の郵送を取りやめさせていただきます。記載のアドレス・QRコードより、ご閲覧いただきますようお願い申し上げます。



 https://www.tv-asahihd.co.jp/ir_houkoku/

会社情報／株式情報 (2023年9月30日現在)

会社の概要

商号 株式会社 テレビ朝日ホールディングス
(TV Asahi Holdings Corporation)
設立 1957年11月1日
資本金 366億9,920万円
本店所在地 〒106-8001 東京都港区六本木六丁目9番1号
事業内容 株式等の保有を通じて企業グループの統括・運営等を行う認定放送持株会社

役員

代表取締役会長	早河 洋	取締役	田中 早苗
代表取締役社長	篠塚 浩	取締役	中村 史郎
取締役	役 武田 徹	取締役(監査等委員)	長田 明
取締役	役 角南 源五	取締役(監査等委員)	池田 克彦
取締役	役 板橋 順二	取締役(監査等委員)	弦間 明
取締役	役 堀江 隆	取締役(監査等委員)	藤重 貞慶
取締役	役 西 新	取締役(監査等委員)	宮田 桂子
取締役	役 多田 憲之		

(注) 多田 憲之、田中 早苗、中村 史郎、池田 克彦、弦間 明、藤重 貞慶、宮田 桂子の各氏は、社外取締役であります。

株式状況

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
300,000,000株	108,529,000株	22,815名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社朝日新聞社	26,151,840	24.72
東映株式会社	18,522,900	17.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,266,200	5.92
公益財団法人香雪美術館	5,030,000	4.75
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 大日本印刷口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	4,030,000	3.81
KBCグループホールディングス株式会社	3,333,500	3.15
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,372,200	2.24
公益財団法人朝日新聞文化財団	2,297,100	2.17
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,747,457	1.65
朝日放送グループホールディングス株式会社	1,572,000	1.48

(注) 持株比率は、自己株式(2,772,275株)を控除して計算しております。また、小数第二位未満を切り捨てて表示しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031 受付時間 9:00~17:00(土日祝日および12/31~1/3を除く)
(ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
(よくあるご質問(FAQ))	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 https://www.tv-asahihd.co.jp ただし、ホームページに掲載できない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する朝日新聞に掲載いたします。
上場取引所	東京証券取引所
外国人等の株主名簿への記載または記録の制限	当社の定款には次の規定があります。 定款第10条 本会社は、次の各号のいずれかに掲げる者から、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することの請求を受けた場合において、その請求に応ずることにより、次の各号に掲げる者の有する議決権の総数が、総株主の議決権の5分の1以上を占めることになるときは、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することを拒むものとする。 1. 日本の国籍を有しない人 2. 外国政府またはその代表者 3. 外国の法人または団体 4. 上記1.ないし3.の各号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人または団体 ②本会社は、法令の定めに従い、前項各号に掲げる者が有する株式について、株主名簿への記載もしくは記録の制限または議決権の制限を行うことができるものとする。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1
電話 (03)6406-1115 URL <https://www.tv-asahihd.co.jp>